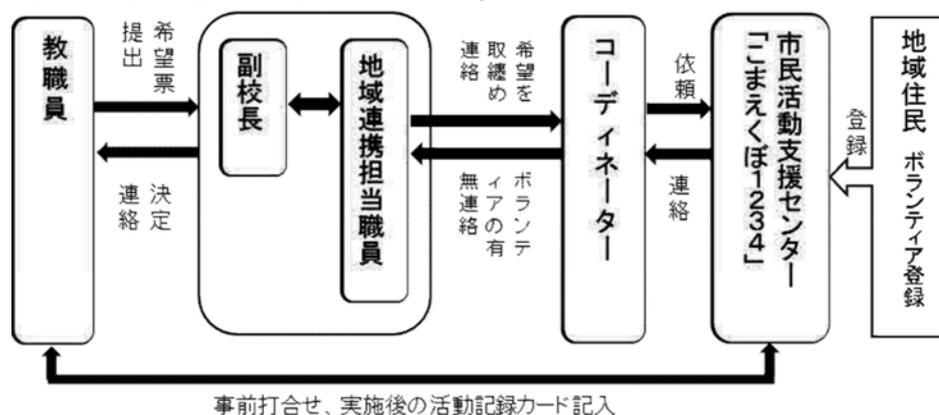


◆事業方針（計画等における位置づけ）

狛江市教育振興基本計画の中で、学習機会の提供および教育環境の整備に基づいた施策として位置づけている。地域と学校の連携を深め、学校における教育活動の充実に繋げるほか、関係部局や関係機関と協力して地域人材の教育活動や地域活動への参画を促していく。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1・2・3・4」を活用し、コーディネーターの要請でボランティアの人材派遣等を行うしくみがある。



◆運営委員会

一校のみで実施しているため、学校支援地域本部を運営委員会としている。

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

ホームページで紹介している。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

都からの研修等を利用しつつ、事業理解の促進を図っている。

◆成果

授業時の見守り支援などにより、授業におけるクラスの状況改善などが見られている。また、夏季などの学校の長期一斉閉庁日における飼育生物の世話など、他校では当番の児童や市職員が巡回時に対応した案件をボランティアで行うことができた。

◆課題・展望

【課題】通学路や校庭における子供の見守りや図書整理・読み聞かせ、花壇や芝生の手入れなどについては、以前からボランティアが組織され活発に機能している。また、畑の先生や田んぼ作り等、すでに学校と地域が連携して子供を育てる地域性があるため、試行している狛江第五小学校においてもこの事業としてボランティアを要する学校のニーズが少ない。

【展望】新規に一定量恒常的にボランティアの業務があるような学校のニーズを発掘できれば、それを柱に活動の幅を広げて発展していけると良いと考えている。